

入学おめでとよう

〈新一年生に防犯・交通安全グッズの贈呈〉

近年、児童を狙う凶悪犯罪が多発していることから、和束町防犯推進委員及び相楽東部広域連合教育委員会から和束小学校新一年生に防犯ブザーが配られました。



防犯ブザーは4月8日(火)の入学式のと教室で配られ、木津警察署和束交番の溝淵巡査部長から使い方が説明されました。

溝淵巡査部長は、犯罪に巻き込まれるような事態が発生した場合は迷わず防犯ブザーを鳴らしてほしいと話され、新一年生は知らない人が話しかけて来ても絶対について行きますと固く誓っていました。

そのほか、新一年生には、和束町交通安全対策協議会から通学用安全帽が、また、相楽交通安全協会から黄色い安全傘が贈られました。

役場庁舎前に

「日本で最も美しい村」

連合の看板設置！



和束町は昨年、「茶源郷としての茶畑と瓦屋根の集落景観」と「鎌倉時代から承継する茶文化」を守る町づくりが評価され、NPO法人「日本で最も美しい村」連合に52番目の団体として加盟しました。

このほど、加盟をPRする同連合統一看板を庁舎前のほか、幹線道路沿いなど計6箇所を設置しました。この看板は、「日本で最も美しい村」を訪れる方への目印となるものです。和束町はこれからも「日本で最も美しい村」連合加盟団体にふさわしい町づくりを進めてまいります。

奥田右氏が

副町長に就任

3月24日の定例議会本会議で、2月末で退任された森脇副町長(66)の後任に、元町職員奥田右氏(60)が選任されました。奥田氏は昭和48年3月に和束町職員として採用され、建設事業課長、総務課長、産業担当理事を経て副町長に就任されました。なお任期は4月1日から4年間です。



平成二十六年度和束町消防団 部長以上の役員 (敬称略)

【本部】

団 長 松谷正樹
副団長 岡田周一
副団長 谷本昌隆

【中分団】

分団長 辻 由典
副分団長 澤樹信吉
一 部長 辻 寿志
二 部長 藤岡裕史
三 部長 小西智也
五 部長 畑 新悟
六 部長 山下芳史

【湯船分団】

分団長 小西博之
副分団長 宗 信大
一 部長 中西拓二
二 部長 柚木秀太
三 部長 長西朋宏

【西分団】

分団長 西田清秀
副分団長 西川 寿
一 部長 馬場 睦
二 部長 竹谷正史
三 部長 吉田雄一

【東分団】

分団長 中井智一
副分団長 岩崎聡宗
一 部長 坂口浩次
二 部長 筒井武美
三 部長 細井堅太
四 部長 藤田勸二



人事異動

平成26年4月1日付 ()内は前職名

【異動】※係長以上の異動を掲載しています

大西峰夫

参事
(総務厚生担当理事兼議事事務局局長兼庶務係長事務取扱)

杉本 守

福祉課長兼老人福祉センター所長事務取扱兼地域包括支援センター管理事務取扱(税住民課長兼係長事務取扱兼任住戸籍係長事務取扱)

岡西純次

議事事務局局長兼庶務係長事務取扱(相模東部広域連合派遣勤務)

北 淳司

住民課長兼保険年金係長事務取扱兼住民戸籍係長事務取扱(建設事業課長)

中嶋浩喜

総務課長兼和束B&G海洋センター所長事務取扱(福祉課長兼老人福祉センター所長事務取扱兼地域包括支援センター管理事務取扱)

中嶋 修

人権啓発課長兼啓発調整係長事務取扱(人権啓発課長)

東本繁和

建設事業課長
(建設事業課主幹)

竹谷正則

建設事業課長補佐
(建設事業課長補佐兼建設係長事務取扱)

井上順三

福祉課長補佐兼介護保険係長事務取扱(福祉課長補佐兼福祉係長事務取扱兼介護保険係長事務取扱)

細井隆則

総務課長補佐兼庶務係長事務取扱兼地域情報係長事務取扱

馬場かよ子

福祉課長補佐兼健康係長事務取扱(福祉課健康係長)

久保寿己

農村振興課長補佐兼振興係長事務取扱(農村振興課環境係長)

北 卓也

農村振興課環境係長
(農村振興課振興係長)

竹谷徹也 建設事業課建設係長(総務課主任)

中尾政弘 福祉課福祉係長(福祉課主任)

【出向・派遣】

竹谷秀俊 相模東部広域連合派遣勤務(農村振興課主幹)

宮嶋靖典 京都府地方税機構派遣勤務(総務課地域情報係長)

宅間奈々 京都府出向(地域力推進課主事)

【新規採用】

谷村僚亮 農村振興課主事

吉田 恵 総務課主事

福井優子 地域力推進課主事

岡田佳子 農村振興課主事補

【退職者】

※平成26年3月31日付

奥田 右 産業担当理事兼総務課長事務取扱兼和束B&G海洋センター所長事務取扱

中 みゑ 人権啓発課啓発調整係長

但馬勇子 農村振興課主任

和束産木材で机と椅子づくり

木工体験教室開催



和豆香グリーンファームで使用する机と椅子を作ろうと、3月23日(日)、木工体験教室が開かれました。この事業は京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金を活用したもので、木材はすべて町内産を使用しました。

山からの間伐材の搬出も有志が行い、地元の製材業者や木工の専門家の協力で加工されました。

体験教室には町内外の15人が参加され、木工の専門家から作り方を教わりました。普段あまり目にしない道具や機械を使い、慣れない手つきながらも一生懸命に作業さ

れ、木のぬくもりにあふれた机と椅子が完成しました。

完成した机と椅子は和豆香グリーンファームで使用しています。

和束町の地域力の一端を垣間見ることができますので、ぜひ休憩などにご利用ください。



マウンテンバイク耐久レース開催

～湯船森林公園に300人集結～



3月30日(日)湯船森林公園のマウンテンバイクコースで、「京都ゆぶね春よ来い エンデューロ(耐久レース)」が開催されました。

今回の大会には、東は神奈川県、西は広島県と全国各地から99チーム、約300人の参加がありました。

当日はあいにくの雨模様で肌寒く、選手の体調を考え4時間耐久を3時間耐久に変更したりするなど多少のハプニングがあったものの、参加者の方々は「雨二モ負ケズ」を合言葉に、泥にまみれながらも大会を楽しんでおられました。

